

耳の遠い親でも音量調整で電話での対話がスムーズに デモ機貸出しサービスも

NPO法人パオッコ

「離れて暮らす親のケアを考える会」

太田差恵子

「うちの親は耳が遠くて、電話での対話が成り立ちません」

「いやいや、電話に出してくれるだけまし。うちの親は呼び出し音に気付かず、受話器を取らないんですよ」

高齢の親がいる子どもが集まると、しばしばこういう話題が持ち上がります。

離れて暮らす子はもちろん、同居でも、日中仕事先から自宅に電話をかけたときに、一向に親が受話器を取らないと、何か

あったのではないかと不安になります。

一方、対話がかみ合わないことで苛立ちとなることも。「来月には、顔を見に行くよ」と言ったのに対し、「えっ、なに?」「えっ?来週?」「えっ、いつ来るって」と何度も聞かれると、イライラしてしまいます。

子のイライラは、親にも伝わります。双方の声はどんどん大きくなり、まるで怒鳴り合い。声も枯れ、後味の悪い通話に終わることもあります。



●高齢者用電話機「ジャンボプラス」

電話での対話がスムーズにいかない場合、不都合なことや苛立ちを招くだけでなく、親の意欲を萎えさせてしまうことも。友達や家族との電話を楽しみにしていた親も電話を掛けることを躊躇するように。そして、何度も聞き返してしまうことを「申し訳ない」と思ってから電話

から遠ざかる…、といったケースもみられます。このような場合、「電話機」を交換するのも方法です。各社から音量を大きく調整できるなどの機能を付加した電話機が販売されています。

自立コムの販売する「ジャンボプラス」もそのひとつです。現在のところ、国内で販売されている電話機のなかでは最大の音量増幅が可能。アメリカSerene Innovations社製の難聴者及び高齢者用の電話機を輸入販売しているものです。

私がこの電話機に注目したのは、大手通販サイトでのレビュー数が多く、しかも評価が高かったから。ぜひ実物を見てみたいと思い自立コムの展示スペースを訪れてみました。

まず、番号ボタンの大きさに驚きます。本体も大きめで重量感があります。受話音を大幅に増幅できるほか、音程も低音・中音・中高音・高音の4段階から選択できます。着信時の音量

も3段階から選べ、もともと小さな音量でも通常の電話機に比較すると大きめです。しかも同時に前面と側面のランプが点滅するので視覚的にも電話が掛かってきたことを認識できます。

●**使い勝手は人それぞれ**

ジャンボプラスは電話機としての余分な機能を排し、難聴者・

高齢者が安心して話せるように設計されています。3か所までのワンタッチ発信ボタンはありますが、留守録はありません。また、ナンバーディスプレイ機能もないので、受話器を取る前に発信者は確認できません。

「使い勝手」の感想は人それぞれなので、こういった商品はAさんには大好評でもBさんには



◎ジャンボプラス 29,400円(税込)
*自治体により「日常生活用具」の給付対象
(株)自立コム ☎03-3476-2160(代表)
<http://www.jiritsu.com>
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-4 大場ビルA館5F

不評ということもあります。「音量」にこだわる親には良くても、付加機能にもこだわる親には向かないでしょう。聞こえ方もあるによって違いがあります。そこで、できれば実際に利用する当人が手にとって試してみたら購入したいもの。

私がこの電話機を見つけたのは通販サイトでしたが、「基本は対面販売をお勧めしています。聞こえ方は個人差が大きいです、納得して購入していただきたいのです」と自立コムの担当者は話します。

耳の不自由な方は補聴器を利用してケースも多いものです。ジャンボプラスの受話器には「Tコイル」(磁気誘導というシステムを使用して補聴器の補聴効果を向上させる機能)が内蔵されているので、Tコイル内蔵の補聴器では、装着したままでもより雑音のない鮮明な受話音声聞くことができます。補聴器と電話の組み合わせなど、いくつかの条件で聞き取りの効果

は変わってきます。

「Tコイルの切り替え方法も補聴器によって違います。本機は補聴器店で取り扱っていますので、相談いただきながらご検討ください」と担当者。その他、全国の介護ショップでも取り扱っているそうです。

また、自立コムではデモ機の貸し出しサービスをしているので、試してから購入できます。補聴器店経由で借りることも可能。貸し出し期間は1週間。送料(往復)は利用者負担です。

* *

自立コムの展示スペースには、電話機のほか、集音器、目覚まし時計など、「聞こえ」をサポートする商品が並んでいました。全てに貸出器があるそうです。

こういった商品と出会う機会はありません。でも、うまく出会えれば、生活の質はグンと高まります。各社の商品の特性を比較検討しつつ、専門家とも相談しながらよりニーズにあった商品を選びたいものです。